

科 目 名	子ども学演習					開 講 キャンパス	神 園
担 当 者	前 村 晃						
開 講 年 次	3	開講期	通年	単位数	2	必修・選択	必 修
授業の概要 及びねらい	この授業では、子どもを取り巻く様々な環境問題、子どもの歴史、心身の発達、遊び、子どもを対象とした表現活動、子どもの福祉など、子ども学に関する基礎知識を深める。授業では、1) 文献資料の収集、2) 調査・実験、3) レポートの作成、4) 発表や討論、5) 子育て支援体験活動を行い、主体的な学習力の向上を目指す。また、子どもに関する知識や理解を深めるため、実地見学や観察、調査などの体験的学習を積極的に行う。なお、本演習は4年次開講「卒業研究」の基礎演習として位置づけられる。						
授 業 の 到 達 目 標	1) 子どもや教育、保育に関する問題関心を深め探求することができる。 2) 論文や文献を読んでその内容や要旨をレジュメにまとめることができる。 3) 他の学生の報告を傾聴し、質問や意見を述べるすることができる。 4) 日本の子どもと子育て、子ども文化の歴史を理解し、特徴を説明することができる。 5) 現代の子どもをめぐる問題を理解し、解決の方向性について考えることができる。 6) 昔話や絵本、紙芝居に親しみ、読み聞かせることができる。 7) 子育て支援活動の意義を理解し、その企画・立案・実行を補助することができる。 8) これまでの学びを基礎に、卒論のテーマについて考えることができる。 9) インターネットを用いた文献調査の方法を習得する。 10) アンケートやインタビュー、観察など、卒論作成に必要な調査の方法を理解する。						
学 習 方 法	論文や文献の講読、レポート作成、発表、討論、実態調査、体験学習						
テキスト及 び参考書等	適宜プリント等を配布する						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						評価割合%
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎	◎		◎			40
授業態度		◎		◎			15
受講者の発表		◎		○	○		30
授業への参加度				◎			15
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
通 年	第1週	オリエンテーション					
	第2週	研究室訪問(選択しようとするゼミの教員を訪問し、研究テーマについて話し合う)・希望調査票の提出					
	第3週	ゼミ別オリエンテーション (授業の進め方、顔合わせ)					
	第4週	現代の子どもをめぐる諸問題 (実習等の経験を踏まえて)					
	第5週	「子ども学」とは何か 独自の研究目標・独自の研究対象・独自の研究方法をどう考えるか					
	第6週	過去の子どもをめぐる問題の掘り起こし 古代社会、江戸時代、産業革命期					
	第7週	過去の子どもをめぐる問題の掘り起こし 近代学校教育制度導入の前後					
	第8週	過去の子どもをめぐる問題の掘り起こし 児童中心主義とフレーベルの恩物保育					
	第9週	過去の子どもをめぐる問題の掘り起こし わが国における幼稚園教育の導入と初期定着期の実相					
	第10週	過去の子どもをめぐる問題の掘り起こし 戦時下及び終戦直後の子どもの生活と教育					
	第11週	現代の子どもをめぐる問題の掘り起こし 環境の激変と子どもの生活への影響					
	第12週	現代の子どもをめぐる問題の掘り起こし 親と子の関係					
	第13週	ロールプレイング1 子どもの問題に迫る					
	第14週	ロールプレイング2 子どもの問題に迫る					
	第15週	ロールプレイング3 子どもの問題に迫る					
	第16週	前期のまとめ 後期への課題					
	第17週	絵本から学ぶ子どもの教育 絵本の絵と文の世界 学生による読み聞かせ					
	第18週	メルヘンから学ぶ子どもの教育 昔話やグリム童話の世界 学生による読み聞かせ					
	第19週	ファンタジーから学ぶ子どもの教育 「モモ」の世界 画家エトガーと作家エンデ父子のファンタジー					
	第20週	レポートの報告と討議1					
	第21週	レポートの報告と討議2					
	第22週	レポートの報告と討議3					
	第23週	レポートの報告と討議4					
	第24週	レポートの報告と討議5					
	第25週	レポートの報告と討議6					
	第26週	卒業論文とはどのようなものか					
	第27週	卒論にむけて (1) テーマをどう選ぶか					
	第28週	卒論にむけて (2) 文献とデータ					
	第29週	卒論にむけて (3) 文献検索の方法と活用の仕方					
	第30週	卒論にむけて (4) 調査の種類と方法					
	第31週	まとめ					
	第32週						
備 考	本授業の一環として、西九州大学子ども研究ネットワーク主催事業「子どもミュージアム」に参加します。						